

タブレット端末で簡単なプログラミングを行い、ドローンを飛ばそうとする生徒＝土岐市肥田町肥田、肥田中学校



ドローンの操作など説明

子どもたちに仕事の魅力や最新技術に触れてもらうと、土岐市肥田町肥田の肥田中学校は2日、土木工事業やドローン関連事業を手掛ける県内の社長2人を講師に招いた出前授業を行った。

講師は小島土木(同市土岐津町土岐口)の小嶋啓元社長(45)とROBOZ(ロボッツ、郡上市美並町上田)の石田宏樹社長(45)。キャリア教育の一環として県が企画し、2年生52人が参加した。

小嶋社長は「みんなの気がつかないところで道路や橋を直している」と業務ややりがいを紹介。石田社長は動画を示して小型無人機

県内の社長2人、肥田中で出前授業

仕事の魅力感じて

ドローンを活用した農業散布の事例などを説明した。農業に興味を持つ永岡里咲さん(14)は「最先端の技

術は手作業に比べてはるかに効率的に見えて、時代の進歩にびっくりした」と感想を話した。

ドローンの操作体験もあり、生徒は体育館内を縦横無尽に飛ばして楽しんだ。(織部俊太郎)